



ん・小鳥・魚等を作ったり、立体的な構造物やつまようじで魚の外形をつくり輪切りに貼り付けたりと、アイデアが拡がり、何個も作る子がいて予定の時間をオーバーして終了。



食物ピラミッド

クラフト作成風景

7月21日（月） 森林体験「山もり・てんこ森」 吐山野外活動センター  
 県「山の日・川の日」のメインイベントとして開催された。開会式では、本年当県で開催される「全国豊かな海づくり大会」～やまと～のPRを兼て、魚つり姿の出で立ちの“せんとくん”も加わり盛り上げた。参加者は、会場内各所で繰り広げられる森の恵みを利用しての、ものづくり体験や見学、味見をして廻った。これに協賛して参加の当クラブのコーナーを順次訪れる子供達やその保護者に、12名のクラブ員が交代でジージーゼミと竹笛づくり指導した。次々と作品を完成させ、早速回したり、吹いたりして音を楽しんでいた。この日の一般参加者は600人弱とのこと。



開会式

作成風景

7月26日（土） 「親子で楽しむ木工クラフト」 矢田山遊びの森  
 県「山と森林の月間」協賛イベントとして開催。受付開始前から三々五々親子づれが集まり、矢田山で景観保全活動として森林への侵入した竹の除伐作業ででた竹を使つてのジージーゼミ・竹笛づくりをクラブ員が指導。両方を作り終えた子供達は早速ゼミを回しては鳴き声を、また笛を吹いては音色を楽しんでいた。最後に我々が幼虫から育てたカブトムシ数匹を抽選で配った。当たった子はペットボトルに入れ、嬉しそうに抱きかかえながら持ち帰った。猛暑日となったにもかかわらず昼までに参加した親子づれは33名。この日は、定例活動日でもありクラブ員25名が参加。クラフト指導以外は、次回にむけてのクラフト材料づくり、午後からは椎茸銀行の年表板付けや整理を行った。



ジージーゼミづくり

竹笛づくり

親子で楽しむ

7月30日（水） クラフト指導 矢田山遊びの森  
 奈良キリスト教会附属幼稚園リトルファンファン（学園前）が毎年同地で行われる野外活動でのプログラ



ムの一つとして木工クラフトを指導。園児とその兄弟・姉妹合わせ 40 数名とその保護者が参加。木の輪切りを台にし、木の実を組み合わせ、これに動眼や尻尾を付けて小動物づくりに取り組んだ。次々と可愛いフィギュアが出来、中には両手で持ちきれないほど沢山作る児もいた。最後に全員の作品を並べ記念写真を撮った。昼食はバーベキューや流しそうめんを楽しんでいた。指導にあたっては、県森林環境税対応の森林環境教育として講師 3 名が派遣され、これにクラブ員 5 名が補助についた。暑さ対策として、最近購入した工場用大型扇風機を初めて使用。かなりの威力を発揮した。



製作風景

出来た！

作品の数々

8月3日(日) 自主活動 矢田山遊びの森

今年度予定されている新規事業のための予備調査活動を参加者 8 名で実施。 頂上展望台西側前方(生駒山側)で侵入した竹を整備し、里山の維持を目指すもの。境界を確認しながら、作業範囲の確認を 2ヶ所で行った。竹や枯れ竹の乱立や、雑草が繁茂し基点の発見に手間取りながらも予定を終了する頃には怪しかった雲間から、雨が落ち始めた。



作業前打合せ

基点確認

範囲の確定

竹を分け入って

8月4日(月) 環境出前講座 富雄第三バンビーホーム

同ホームよりの要請を受け、クラブ員 6 名が指導にあたった。児童 45 名先生 4 名が参加。当方の活動紹介に次いで、森林環境教育として今回のクラフトが主に竹を使っているもの故、竹の植生・種類や竹が繁茂することによる森林への影響等につき、質疑を挟みながら説明。この後、6 グループに分かれ、それぞれ一名ずつが指導につきクラフトづくりに取り組んだ。用意した大・中・小サイズの異なる竹の輪切りを思い思いに組合せ、更に木の実を加えてカタツムリ・小鳥や小動物を中心に色々なフィギュアを作り台となる竹に固定した。どの作品も一つとして同じものはなく、いつものことながら子供達の豊かな発想には驚かされた。夏休みの宿題としての作品となるようにとの要望があり、ある程度これに適うものとなった。



竹のお話

製作風景

ユニークな作品群

8月9日(土) 「親子で楽しむ木工クラフト」 矢田山遊びの森

県「山と森林の月間」協賛イベントとして、7月28日(土)に次いで開催。矢田山で森林へ侵入する竹を伐採した「竹材」を使って、ジージーゼミ・竹笛を作るクラフト。当日は台風に伴う雨で、開催が懸念されたが、受付時間の9時半前に一組の親子連れが不安そうに我々係員の様子をみておられ、「森の情報館」交流スペースでの工作であり、早速準備、ジージーゼミと竹笛それぞれに2名ずつ指導者がついた。その後まばらに参加者があり、クラフトづくりに挑戦した。雨のしぶきが交流スペースに吹き込み、セミの鳴き声の出かたに影響しないか心配されたが、工夫と根気で作品が完成。竹笛も参加者一人一人のものを作成し満足気であった。(参加親子8組、24名)

8月17日(日) 「森の学校」 二上山ふるさと公園

県の山の日・川の日協賛イベントとして、奈良県中部農林振興事務所が開催する「森の学校」が同公園で行われ、当クラブから指導員として4名が参加した。天候は晴れ時々曇りで、水辺テラスの水遊びや芝生広場の昆虫採集の親子連れが訪れた。受付で配布の動物・昆虫等のクイズに挑戦後、竹材を使ってジージーゼミ・竹笛づくりの工作を楽しんだ。また参加者を募り、午前・午後一回ずつ森林インストラクターでもある指導員の案内で、展望台までのコースで森林観察を行った。ウラジロ(シダ)の群生やネジキ(樹木)も多く見られたが、展望台からの眺めもすばらしかった。(親子連れの参加者:70名程)



自然観察会



ジージーゼミづくり

8月20日(水) 自主活動 矢田山遊びの森

今年度よりスタートした林野庁助成対象事業「森林・山村の多面的機能発揮対策」としての事業認可を得て、頂上展望台西側尾根筋の竹の除伐作業を8名で実施。結構太いものが密生しており、処理に手間取り作業後の達成感は多くないが少しずつ明るさと風通しがよくなってきた。この事業は原則、月二回の自主活動日が作業に当てられ3年間継続することとなる。

8月23日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

午前中は参加者25名が3組に分かれ、FV連の「緑の募金」公募事業の作業に参加。

1) 新規事業の「竹林整備と竹の利活用」として芝生広場中央にある四方竹の整備のため範囲の確定、処理程度の見究めを行った上、一部除伐を行った。

2) 上記と同じ事業で、隣接の榊野工務店横の竹林整備のためのアクセス確保のための草刈りを実施。

3) 昨年度の事業である、モミジ谷での間伐並びに雑木の除伐の作業終了に伴い、使用済みの仮設の木橋の撤去と、太いツルが絡んで掛かり木となっていたものの処理。さすがのツルも根切りをしてから、半年ほどが経過したため何とか外すことが出来た。

午後は、全員でクラフトの材料として、予め乾燥させておいた竹の小口切りをし、ジージーゼミと竹笛の材料づくりを行った。





四方竹の整備



アクセスの整備



クラフト材料づくり

9月5日(金) 林野庁担当官視察 矢田山遊びの森

林野庁山林振興・緑化推進室青木課長補佐の訪問を受けた。目的は、平成25年に同庁森林利用課により創設された「森林・山村の多面的機能発揮対策交付金」制度の助成を当クラブが受けて、取り組んでいる「侵入竹の伐採」事業の実施状況の視察。同課長補佐は、当日朝東京を立たれての当地のご訪問でしたが、疲れも見せず到着後すぐに我々にヒヤリングをされ、続いて侵入竹の伐採地においてになり、事業実施の状況をつぶさに視察されました。視察後”密集した竹林の伐採は大変ですね”との労いの言葉を頂いた。当クラブとしては矢田山の侵入竹の伐採に力を注ぎ、本事業が成功するように努力する所存。なお、この日同行の県森林整備課並びに林業改良普及協会からは、今後の進め方についても指導を頂いた。



現地視察風景

9月7日(日) 自主活動 矢田山遊びの森

侵入竹の除伐作業に8名が参加。現地で上記5日の視察状況の報告を聞いてから活動を開始。作業効率を上げるため、今回初めて竹伐り専用のチェーンソーと竹伐り可能なチップソーを付けた下刈り機を使つての作業。機動力を発揮し伐り進んでいったためかなり作業は進み、大分開けてきた。



報告を聞く



作業風景



9月11日(木) 「潤いの森」下草刈り 日笠町

本年2回目となる同森の植栽地での下草刈りを山主さんまじえ9名で実施。初めての参加者もあり同森の由来と、作業の範囲・内容を説明後二手に分かれて、まず下刈り器で草を刈り、続いて根元周りを手鎌で刈り取った後、傾いている木を起こし、杭を打ちひもで結わえて固定した。午後、近くの里山の植栽地

へ移動。そこはかなりの傾斜地ゆえ、全て手鎌で刈り取りを行った。

9月13日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

午前中、参加者23名が下記の3手に分かれ活動。

- 1) 「緑の募金」公募事業—頂上展望台の眺望回復のための周辺整備として、草刈り・雑木の除伐
- 2) 次回より実施の各植栽地草刈りのための遊歩道並びにアクセスの草刈り
- 3) 林野庁助成事業”進入竹の除伐”今後の作業地の点検

午後は、FV連「緑の募金」公募事業—四方竹林の整備。一方炭窯横上方に張りだした大きな枯れ枝がいつ落ちてもおかしくない状況故、安全かつ確実な処理方法を検討、次回の定例活動時に除去作業の予定。終了後、定例理事会が開催され、下記報告・検討を行った。

- ・10月18日開催される「春日奥山古事の森」シンポジウム参加申込状況
- ・次回定例活動の作業内容、人員の割り振り  
この日、登美ヶ丘公民館での環境出前講座—クラフト指導と重なることもあり
- ・FV連「緑の募金」公募事業実施報告書に対する国土緑推よりの指摘・指導の件
- ・期末決算案 等



頂上展望台眺望回復作業

四方竹林整備作業

9月17日(水) 自主活動 矢田山遊びの森

「侵入竹の除伐」事業に8名が参加。前回に引続き機動力を発揮しながら、伐り進めた。密生地だけに境界近くには、除伐した竹が山積みとなった。

9月27日(土) 環境出前講座—クラフト指導 登美ヶ丘南公民館

同公民館まつりの一環としてのクラフト指導。まつりに参加した幼児とその両親、祖父母が三々五々集まり、大中小の竹の輪切りや各種木の実や殻を使って思い思いの作品づくり。当日は地区の小学校の運動会が行われたせいもあり、小学生の参加はほとんどなかった。その分参加した大人はじっくり作製でき満足していた。昼前に終わり、指導にあたった当クラブ員5名は、午後は矢田山での定例活動に合流した。

9月27日(土) 環境出前講座—クラフト指導 登美ヶ丘南公民館

同公民館まつりの一環としてのクラフト指導。まつりに参加した幼児とその両親、祖父母が三々五々集まり、大中小の竹の輪切りや各種木の実や殻を使って思い思いの作品づくり。当日は地区の小学校の運動会が行われたせいもあり、小学生の参加はほとんどなかった。その分参加した大人はじっくり作製でき満足していた。昼前に終わり、指導にあたった当クラブ員5名は、午後は矢田山での定例活動に合流した。



製作中



作品の数々